

## PET/CT 診断に用いる新たな代謝指標に関する検討

### ●はじめに

PET/CT 検査は細胞の活動状態を画像で見ることができる検査であり、ブドウ糖の取り込みからがんを診断する検査などに用いられています。検査結果は画像を視覚的に診断しますが、薬剤の取り込みを数値化して利用する場合があります。この数値を治療の効果の指標にする試みがありますが、現在の方法は体格や病状の影響を受けやすく安定性に欠けるといわれています。われわれは今回の研究で、体格や病状による影響を受けにくく再現性が高い安定した定量性を示す指標を見つけ出したいと考えています。

### ●対象

本研究は平成 22 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日の間に関門医療センターにて PET/CT 検査を実施された方 804 例を対象に研究させていただきます。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

### ●研究内容

すでに実施された PET/CT 検査の画像データから体内各所に取り込まれた薬剤量を推定し、投与された薬剤量や体格や病状などから目安となる新たな指標を計算します。さらに、従来から用いられている指標と比較して、より安定した指標を決定したいと考えています。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担は生じません。

### ●患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

対象者となることを希望されない方および個人情報の開示を請求される方は、下記連絡先までご連絡下さい。

### ●研究期間

研究を行う期間は平成 27 年 3 月 31 日まで。

### ●医学上の貢献

この研究により代謝診断の新たな評価指標が確立されれば、より正確な診断と治療効果判定、さらには的確な予後予測を行うことができるようになると考えています。この結果、より適切な治療法を選択して無駄な治療を回避できるようになり、ひいては患者さんの御負担を少なくすることにつながると考えています。

### [研究機関]

九州大学医学研究院保健学部門	・教授	・佐々木雅之
医学系学府保健学専攻	・大学院生	・田仲由香（関門医療センター・放射線部）
医学系学府保健学専攻	・大学院生	・赤松剛
医学系学府保健学専攻	・大学院生	・谷口隆文
関門医療センター 放射線部	・診療放射線技師長	・近藤晃
放射線診断科	・放射線診断科長	・佐々木克己

### 連絡先：

九州大学医学研究院保健学部門 佐々木雅之  
〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1-1  
TEL (092) 642-6746  
E-mail: msasaki@hs.med.kyushu-u.ac.jp